

ナチュラル ヴィンテージ  
**Natural Vintage 収納扉**  
 ≪柵施工用≫

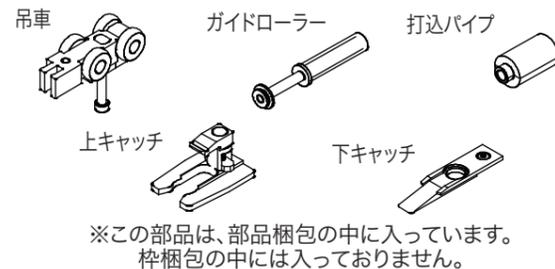
このたびは、ABE KOGYO製品をご利用いただき、誠にありがとうございます。

**⚠ 施工にあたっての注意**

- この施工説明書をよくお読みになり、正しく取付けてください。誤った取付けをしますと、人身事故や家財の損害が発生する恐れがあります。
- 商品に破損や異常がないか、付属品の不足はないかをご確認ください。万一商品に破損や異常があった場合、また付属品の不備があった場合は、販売店または阿部興業株式会社までご連絡ください。
- 室内専用です。屋外や浴室に使用しないでください。使用しますと腐れ、割れ、ねじれ、反り等の不具合が発生します。
- ビス穴加工以外の扉・部材等にビスを取付ける時は、リード穴をあけてビスを取付けてください。割れ等の原因となりビスの効きが減少し、不具合の原因となります。
- 照明灯等の熱により、表面化粧が冒される場合があるので、熱源は1m以上離して作業してください。
- 施工完了まで、水平になるように保管してください。水平でないと反り等の原因となります。

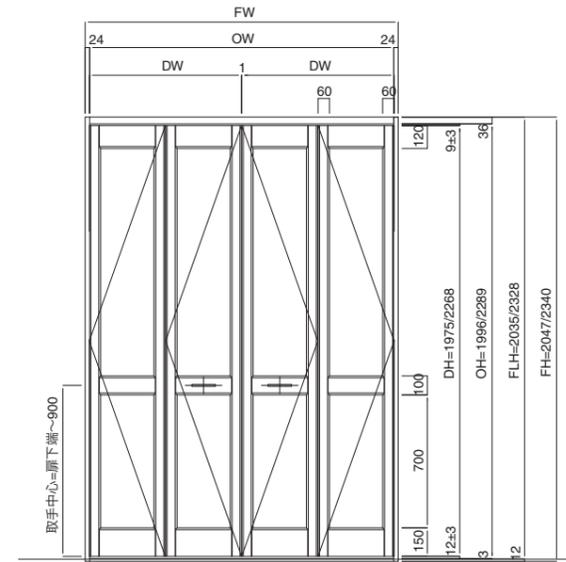
柵 梱包			
上柵 1		下柵 1	
縦柵 1		下レール 1	
柵組立ビス 4	皿3.8×50	カバー付ビス 8	皿4.5×47
躯体取付ビス 2	皿3.5×50	レール取付ビス	ナベ4.0×20
			<幅30用> <幅45・60用> <幅90用> <幅120用> 3 4 7 9

部品梱包	<幅30用>	<幅45・60用>	<幅90用>	<幅120用>
吊車	2	4	6	8
ガイドローラー	2	4	6	8
打込パイプ	1	1	1	1
上キャッチ	1	2	2	2
下キャッチ	1	2	2	2

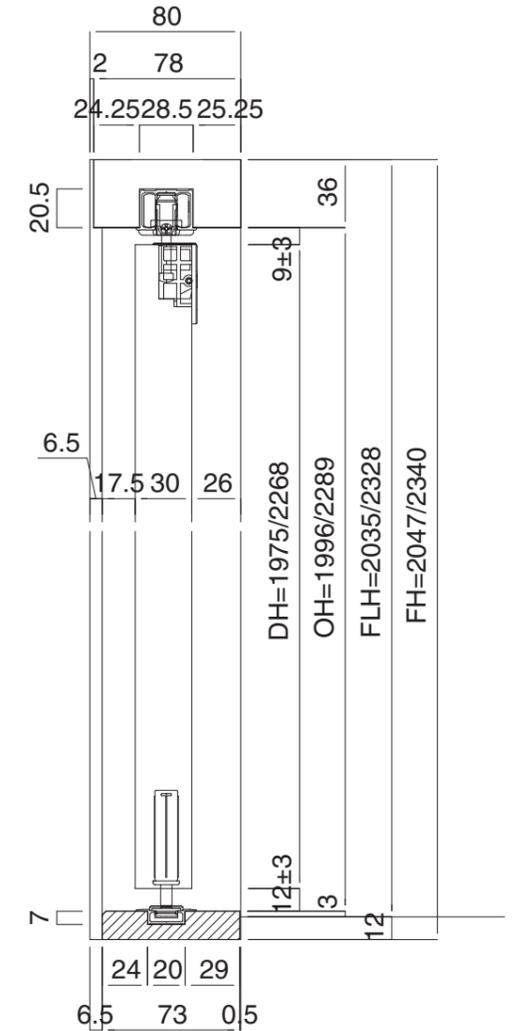


納まり図

姿図

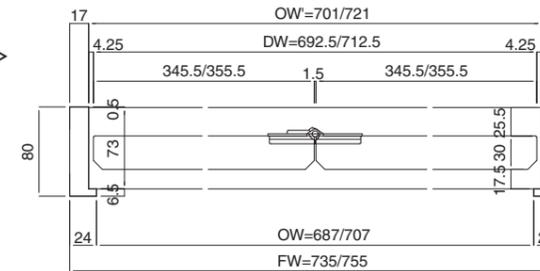


縦断面図

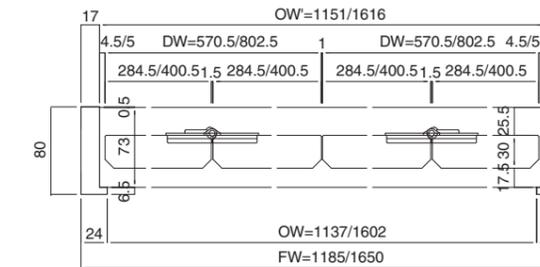


横断面図

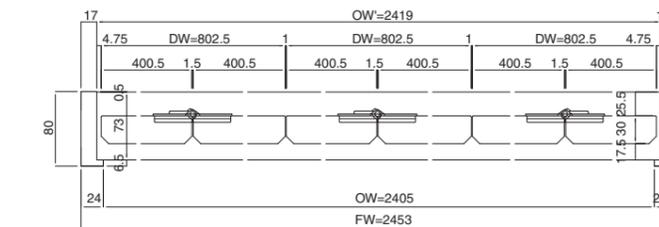
<幅30用>



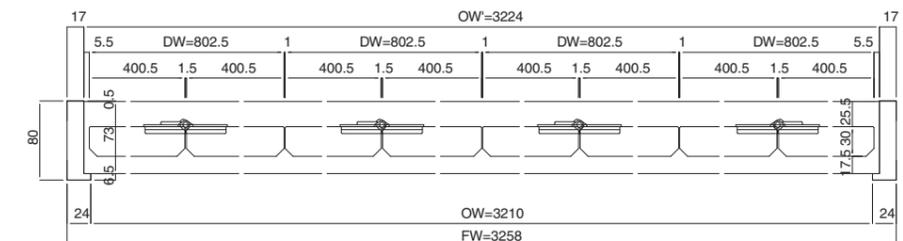
<幅45・60用>



<幅90用>



<幅120用>

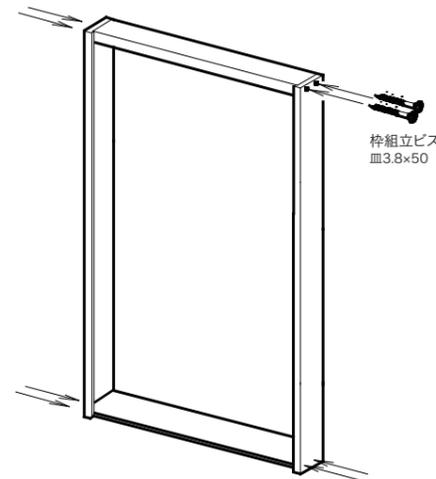
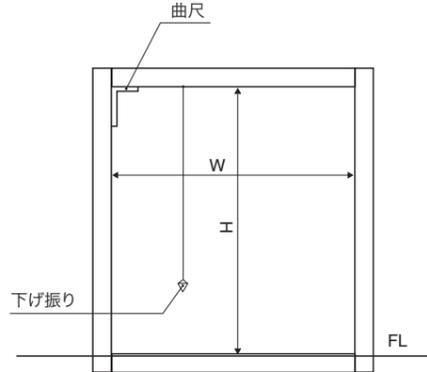


# 取付け順

## 1. 枠の組立て・取付け

① 枠組立ビスで、枠を組み立ててください。

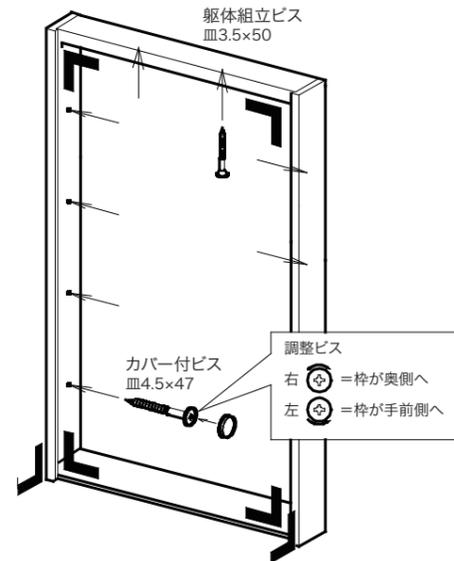
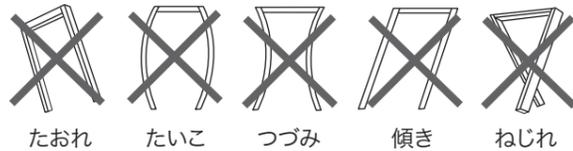
※取付け前に、下げ振りや水準器などで垂直、水平を、確認してください。



② 組み立てた枠を下地に躯体取付ビスで固定してください。

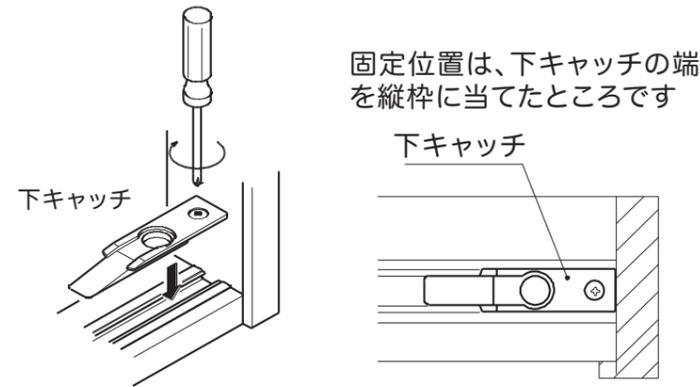
③ 縦枠を下地に固定するためのリード穴があるので、カバー付ビスを締め付けて固定してください。

※施工後の枠が下図にならないように水平・垂直および開口寸法の確認をしてください。



## 3. 下キャッチの取付け

① 下レールに下キャッチを挿入してください。



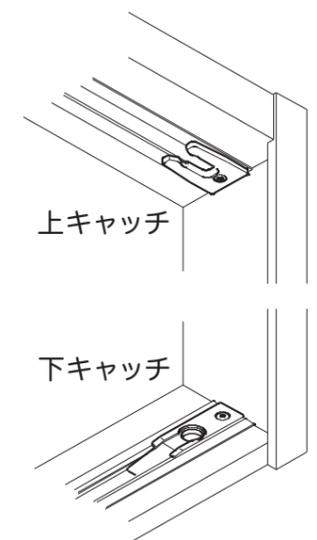
《キャッチ部品の数量》

	2枚折れ	4・6・8枚折れ
	1個	2個
右吊		
左吊		

※上下キャッチについて

- ① 上下キャッチは、扉の吊元側の軸を固定する部品です。これによって、扉の開閉がピポットタイプと同様の動作になります。
- ② 軸固定をキャッチから外す場合は、扉を強めに横移動させます。これによって、扉はフルオープンタイプの動作になります。

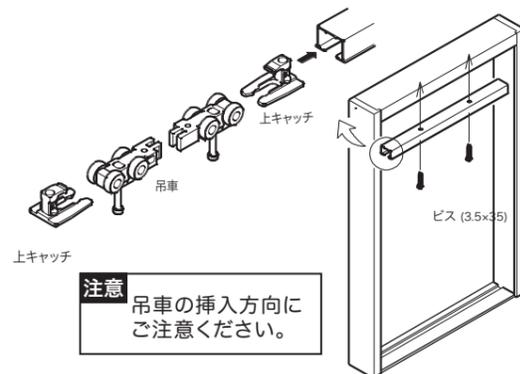
**注意** 固定ビスは強く締め付けてください。各キャッチのビス固定が不十分ですと、動作に不具合が発生する可能性があります。



## 2. レールの取付け

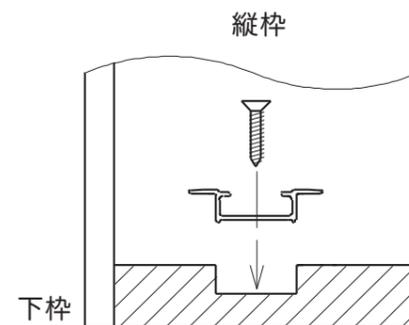
<上レール>

① 上レールに上キャッチと吊車を挿入し、レールを上枠にビスで固定してください。



<下レール>

① 下レールを下枠にビスで固定してください。



## 施工終了後の確認

施工が完了しましたら、下記の点について確認してください。

- ◆すべての部品が取付けられているか、また間違った取付けがされていないか確認してください。
  - ◆取付けネジが所定の位置に取付けられているか確認してください。
  - ◆ネジのゆるみや枠のガタツキがないか確認してください。
  - ◆ドア本体の開閉がスムーズに行えるか、施工上の不具合がないか再度確認してください。
- ※取付けが完了しましたら、扉が他の現場工事によって破損しないように「養生マット」をご利用ください。  
 ※ダンボールはリサイクル品です。  
 地球環境保護のため、回収業者に引き取っていただくようご協力をお願いいたします。

<お手入れ方法>

- お手入れは、うすめた中性洗剤で汚れをおとし、乾いたやわらかい布で軽く拭いてください。
- シンナーなどの溶剤や強い洗剤を使用しないでください。
- ペンキ・グリース・油・パテなどが付着した場合は、速やかに拭き取ってください。